



浅井 葉子 元議員

防災拠点を十四山支所に置いたらどうか

問

(1) 災害対策の拠点となる市役所の庁舎は、市の心臓部分だが、耐震性をクリアしている十四山支所に防災拠点を置いた方が、災害のときにいいのではないか。

(2) 防災安全の拠点を、事務の効率化にとらわれず、災害が起こったときに機能することが、市としての安心・安全を守ることだと思いがどうか。

(3) 20年度から公共施設の整備基金を積むようだが、東海・東南海地震が叫ばれている時期で、どのような計画を立てているのか。

サブシステムとして有効に活用したい

答 総務部長

(1) 耐震性からすれば、その方が安全性は高いが、事務を執る機能が本庁舎にすべてあり、庁舎を整備していくのが一番効率的に仕事に対応できると考える。

答 市長

(2) 本庁舎が耐震性に優れていないことについては、技術的なことを考えながら、防災拠点のつくり方を業者とともに考えていく。

答 副市長

(3) 何年とは言えないが、なるべく早く、特に重要な所から順次整備をしていきたい。議会と相談し対応していきたい。

問

橋梁の耐震の進捗状況と今後の取り組みについて尋ねる。

答 開発部長

18年度から主要幹線道路の15m以上の橋梁を最優先に実施し、20年度は坂中地橋、二ツ杵橋、筏大橋の耐震対策を予定し、今後、長寿命化修繕計画を作成したい。

十四山施設の活用は決まったのか

問

(1) 新聞に「十四山施設活用案まとまる」と掲載されたが、これは決定なのか。

(2) 議会として、公共施設の今後の取り組みに意見を述べる機会は与えてもらえるか。

検討委員会から意見をもらっている

答 市長

(1) 十四山地区公共施設検討委員会から意見をもらっているが、最終的な決定で

はない。

(2) 委員長判断であるが、オブザーバーとして参加して、意見を聞かせてもらいたい。

佐古木駅に無料駐輪場の設置を

問

佐古木駅周辺は(不法)駐輪が目立ち、歩行者や車の妨げになっている。

佐古木駅に無料の市営駐輪場を設置する考えはないか。

現段階では考えていない

答 都市計画課長

佐古木駅の自転車の利用数は約380台であり、有料ではあるが屋根付きの駐輪場が整備されていて、十分収容可能な状況である。現段階では駐輪場の設置は考えていない。